

お詫び

「ベンチャー白書 2018」 I -157 ページ 第 4 章 図表 4-8 の凡例が抜け落ちておりました。
お手数ですが、差替え願います。

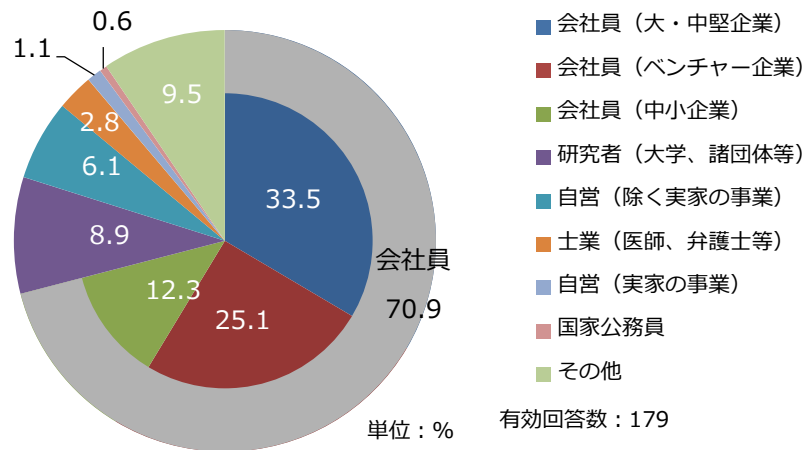
一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター

(6) 起業していなかったら、どのような職業についていたか

第 1 位「会社員（大・中堅企業）33.5%」、第 2 位「会社員（ベンチャー企業）25.1%」、第 3 位「会社員（中小企業）12.3%」となっており、「会社員」と答えた人が約 70%を占めている。第 4 位は「研究者（大学、諸団体等）8.9%」、第 5 位「自営（除く実家の事業）6.1%」、第 6 位「士業（医者、弁護士等）2.8%」と続く。

「その他」（17 名、9.5%）の内訳としては、「起業以外想定できない」「現在、ダブルワーク中」が各 3 名、「フリーランス」が 2 名、「ケアマネージャー」「企業の顧問」「フリーター」「定年後の生活」等々各 1 名と多様である。

図表 4- 8 起業していなかったら、どのような職業についていたか



お詫び

「ベンチャー白書 2018」I-220 ページ 付録 文部科学省 科学技術・学術政策局 ご紹介ページの「次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）採択コンソーシアム」の図が抜け落ちておりました。お手数ですが、差替え願います。

一般財団法人ベンチャーエンタープライズセンター

文部科学省

科学技術・学術政策局

文部科学省では、平成 26 年度より 3 年間、グローバルアントレプレナー育成促進事業（EDGE プログラム）によって、海外機関や企業等と連携し、起業に挑戦する人材や産業界でイノベーションを起こす人材の育成プログラムを開発・実施する大学等の支援を行ってきた。

平成 29 年度からは、EDGE プログラムに採択された大学をはじめ、これまで各地の大学で取り組まれてきたアントレプレナー教育で得られた成果や課題を踏まえて、大学等の研究開発成果を基にした起業や新事業創出に挑戦する人材の育成、関係者・関係機関によるベンチャー・エコシステムの構築を目的として、次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT : Exploration and Development of Global Entrepreneurship for NEXT generation）を行っている。

次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）

優れた人材育成プログラムを実施すると見込まれた 5 コンソーシアムを採択し、各拠点のアントレプレナー育成に係る高度なプログラム開発等、エコシステム構築に資する費用を支援している（支援期間：平成 29 年度から 5 年間）。なお、複数の民間企業や海外機関、他大学との連携を条件としている。

次世代アントレプレナー育成事業（EDGE-NEXT）採択コンソーシアム

プログラム名称 (コンソーシアム名)	実施機関	
	主幹機関	協働機関
“EARTH on EDGE”～東北・北海道からの起業復興～	東北大学	北海道大学、小樽商科大学、京都大学、神戸大学、宮城大学
産官学グローバル連携によるEDGE NEXTプログラム (Global Tech EDGE NEXT)	東京大学	筑波大学、お茶の水女子大学、静岡大学
Tokai-EDGE (Tongali) プログラム	名古屋大学	岐阜大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、三重大学 (*1) その他協力大学あり
多様性と創造的協働に基づくアントレプレナー育成プログラム (IDEA: Innovation x Diversity x Entrepreneurship Education Alliance)	九州大学	奈良先端科学技術大学院大学、大阪府立大学、立命館大学 (*2) その他協力大学あり
EDGE-NEXT 人材育成のための共創エコシステムの形成	早稲田大学	山形大学、滋賀医科大学、東京理科大学 (*3) その他協力大学あり

(*1): 大阪大学

(*2): 広島大学、福岡大学、崇城大学、立命館アジア太平洋大学

(*3): 会津大学、多摩美術大学

(出所：文部科学省 報道発表資料)